

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長		24 年 7 月 23 日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市伏見区南浜町247番地 月桂冠株式会社		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 月桂冠株式会社 取締役社長 大倉 治彦
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2004	
適 用 範 囲	月桂冠株式会社 経営本部・営業本部（営業統括部・貿易部・物流部）・製造本部	
導 入 年 月 日	2008年 10月 16日	
認 証 番 号	JMAQA-E757	
基 本 方 針	月桂冠株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつと認識し、持続可能な社会の実現に貢献すべく、あらゆる事業活動において、環境保全への取り組みを継続的に推進していきます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> ①コピー用紙使用量を2010年度の実績を基準とし、2013年3月までに8%削減する。 ②排水量（生産原単位）を、2010年度の実績を基準とし、2013年3月までに3%削減する（大手蔵）。昭和蔵は調整中のため目標値なし。 ③CO2排出量（生産原単位）を、2007年度の実績を基準とし、2013年3月までに17%削減する（昭和蔵）。2010年度の実績を基準とし、2013年3月までに12%削減する（大手蔵）。 ④廃プラスチックの排出量を、2011年度の実績を基準とし、2013年3月までに5%削減する（昭和蔵）。植物性残渣の排出量を、2010年度の実績を基準とし、2013年3月までに10%削減する（大手蔵）。 ⑤開発及び資材調達部門における環境配慮型の工夫・仕組みをもつ商品、資材の開発・改良を2件以上行う。 ⑥本社における、地球環境保全活動への参加、各事業所周辺の清掃活動を推進する。 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ①コピー用紙：裏紙の使用、両面印刷、電子文書（ペーパーレス）化 ②排水量：洗場機からリンサーへの変更、老朽化設備の更新、更新時の節水型設備の導入 ③CO2：高効率設備の導入、ユーティリティ供給設備の効率的運転、老朽化設備の更新 ④廃棄物：分別の周知、表示の充実、作業方法の見直し ⑤環境配慮型商品の開発：包装資材の軽量化、簡素化 ⑥地球環境保全活動：活動の推進 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ①コピー用紙：全社で意識の向上が見られている。 ②排水量：洗場機からリンサーへの変更したライン2つ、一つのラインの更新時、節水型設備を導入 ③CO2：老朽化したユーティリティ供給設備を更新し、高効率設備を導入。昨年9月より本格始動。 ④廃棄物：分別の周知と徹底をしている。今年度は分かりやすい表示の充実を実施中。 ⑤環境配慮型商品の開発：包装資材の改良現時点で2011年度は3件。 ⑥地球環境保全活動：活動の推進を行っている。 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ①コピー用紙：全社で目標値達成中。 ②排水量：目標値を設けた大手蔵では目標達成中。 ③CO2：目標値達成ちよどのレベルで推移。 ④廃棄物：目標値達成ちよどのレベルで推移。 ⑤環境配慮型商品の開発：本年度は現時点で達成なし。 ⑥地球環境保全活動：全社で目標値達成中。 	
事業活動に係る法令の遵守の状況	2011年度において、京都市上下水道局から排水中のBODが基準値越えしたという警告を受け、本年度9月を目途に対処を完了予定。 それ以外には法令は全て順守できている。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しについては年度末に1回検討を行っている。 2012年度のシステム運営については、2011年度までと同じシステムで行っている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。